

キャラクター名  プレイヤー名

メインクラス	バナレット	Lv.1:		レベル	28
サポートクラス	シャーマン	Lv.1:	ダンサー	性別	女
称号クラス				年齢	17歳
種族	フィルボル			境遇	裏切り
出自 (効果)	秘密結社			目標	逃亡

	筋力	器用	敏捷	知力	感知	精神	幸運
基本値	41	9	12	9	9	42	33
ボーナス	13	3	4	3	3	14	11
クラス修正	2	1	0	1	0	4	0
他修正						4	
能力値	15	4	4	4	3	22	11

HP	369
MP	191
フェイト	11

装備品		射程	命中	攻撃	回避	物防	魔防	行動	移動
右手	ティフェレットの槍	至近	-1	27	0	10	10	-6	0
左手	ナイトシールド					15	7		-1
頭部	古代の冠								
胴部	ナイトアーマー				-2	27	13		0
補助	マーブルポイントアーマー				-2	10	7		0
装身具	暴風王の羽根飾り								
能力値			4	0	4	0	22	7	20
スキル	種族,1,17,29,30,⑤					22	34		
その他	砦竜、リムブーストメタル、鋼の角					12	12	3	25
総計(右)			3	27					
総計(左)			4	0	0	96	105	4	44
総計(両)									m
ダイス数			2 d	2 d	1 d				

	能力値	スキル	その他	合計	ダイス数
トラップ探知	3			3	+ 2 d
トラップ解除	4			4	+ 2 d
危険感知	3			3	+ 2 d
エネミー識別	4			4	+ 2 d
アイテム鑑定	4			4	+ 2 d
魔術判定					+ d
呪歌判定	22			22	+ 2 d
錬金術判定					+ d

所持品	
ハイHP*	リムブーストメタル
ハイMP*	バックパック/ベルトポーチ
ポーションホルダー	ウェポンケース
グレートHPポーション	誓いの剣
グレートMPポーション	ドレスブック
毒消し*	鋼の角
蘇生薬*	暗視ゴーグル
万能薬*	女神のネックレス
砦竜	暴風王の羽根飾り①
ライディングクロップ	暴風王の羽根飾り②
ナイフ	暴風王の羽根飾り③

現在重量:	23	所持金:	327	預金・借金:	
最大重量:	48				

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
マジックレジスト	★	-	パッシブ	-	自身	-		
効果:	作成時に魔法防御力+3							
ディフェンダー	5	3	マイナ	-	自身	-		
効果:	物防+[15]シーン間							
コンパニオンマスター	3	-	パッシブ	-	自身	-		
効果:	物魔防+6							
コンパニオン	★	-	アイテム	-	-	-		
効果:	砦竜取得							
アプリケーション	★	-	マイナ	-	自身	-	シ1	
効果:	MP[CL*5]回復							
カバームーブ	3	4	加ベリソグ	-	自身	-	1シSL	
効果:	20mのカバーリング							
エンカレッジ	★	6	インシチブ	-	単体	-	シ1	
効果:	未行動の対象はメイプもス行える							
マジックディフェンダー	★	-	パッシブ	-	自身	-		
効果:	DFの効果をも魔防にも適用							
コールサーバント	1	10	Xジヤ	-	自身	-		
効果:	サーバント召喚							
カリキュレイト	★	-	インシチブ	-	自身	-	シ1	
効果:	メイプもス行える							
アイアンカバー	3	2	加ベリソグ	-	自身	-	シSL	
効果:	物防魔防+[防具1つの重量]							
マスターテイマー	3	-	セットアップ	-	自身	-	シSL	
効果:	【コールサーバント】使用							
アイアンクラッド	3	3	DR後	-	自身	-		
効果:	受ける予定の物理ダメージ-[SL*3]							
スタンドタフ	★	-	パッシブ	-	自身	-		
効果:	騎乗時、スリップ受けない							
ファランクスモード	★	-	パッシブ	-	自身	-		
効果:	全身防具装備中のみ可のスキル使用可能、また装備のクラス制限を無効							

少女の両親は小さな村の神官だった。そう思っていたのだが、本当は違った。両親とはある秘密結社の一員で、神殿本部に対するスパイであったことを知ったのは、神殿の騎士に両親が串刺しにされたのを筆筒の隙間から目撃した時だった。運が良かったのだろうか。いや、悪かったのか。その後、秘密結社の人間に助けられた少女に、決断の余地はなかった。名前と過去を捨て、惨めな畜生に成り下がった。逃げ出して、どこへ行けばいいのかわからないけれど、絶対に。クーニャと結社に名付けられた少女は、悪意に囲まれながら、それでも背を向ける。本当に、どこへ逃げればいいのか。穿たれた楔は緩む気配もない。





